

学科名	経営ビジネス学科						
科目名	日本語表現法基礎 I						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	1年前期		
必修・選択の別	必修						
担当者	藤本 晃嗣						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の特性を正しく理解できる。 ・敬語を理解し、正しく使い分けができる。 ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。 ・原稿用紙、符号などの使い方の基礎を学習し、正確な表現ができる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の基礎を修得する。 						
日程と内容	4/9 第1回：講義概要 4/16 第2回：教科書「はじめに」1回目 4/23 第3回：教科書「はじめに」2回目 4/30 第4回：敬語1 1回目 5/7 第5回：敬語1 2回目 5/14 第6回：敬語2 1回目 5/21 第7回：敬語2 2回目 5/28 第8回：敬語3 1回目 6/4 第9回：敬語3 2回目 6/11 第10回：文法1 1回目 6/18 第11回：文法1 2回目 6/25 第12回：文法2 1回目 7/2 第13回：文法2 2回目 7/9 第14回：文法3 1回目 7/16 第15回：定期試験 7/23 第16回：まとめ・復習						
成績評価基準	報告書・レポート		50%	実技 部外評価 プレゼンテーション			
	課題 演習		50%	計		100%	
授業到達目標の達成度	日常生活、またレポートや書類を書く上で必要とされる、敬語や文法についての基本的な知識を多くの学生が理解し習得することができたと思われます。特に、使い方を誤りやすい敬語や「ら抜き言葉」、「さ抜き言葉」など文法上間違いやすい点について、正確な表現を理解することができたと考えています。						
反省点	練習問題を学生がそれぞれ行う際に、教え合うことを許可していたこともあり、私語などでやや騒がしくなることがありました。						
来年度の計画	欠席が多い学生や学力が高くない学生を小テストなどで早く認識し、それらの学生に適切に対応するようにしたいと思います。						
授業評価アンケートに対するコメント	黒板が小さかったこともあり板書が見えにくくなっていたため、教室変更を考えたいと思います。私語を減らす為、練習問題を行うとき学生同士で教え合うことをやめ、各自が問題に取り組むようにします。						
履修登録者数	69名	定期試験 受験者数	69名	合格者数	69名	合格率	100%